

令和5年度 Digital Innovation City 協議会

第2回DIC協議会 総会資料

2023/10/04

本日の議事

1. 令和5年度DIC協議会スケジュール
2. PT・検討会の開催状況
3. PT・検討会によるイベント・実証等の実施状況
4. 広報活動の実施状況
5. 今後の予定

1

令和5年度 DIC協議会スケジュール

令和5年度 Digital Innovation City 協議会のスケジュール

取組		令和5年（2023年）										令和6年（2024年）				
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
協議会	総会		第1回				第2回	第2回		第3回			第4回			
	連絡会		第1回				第2回	第2回		第3回			第4回			
PT・検討会	会議			第1回	第2回		第3回	議題 2		第4回		第5回	第6回			
先端技術の実装に向けた取組	ライブ・エンタメ	イベント・実証プロジェクトの選定	承認	実証事業の準備と実施						サービス実装に向けた課題解決アプローチの推進	成果報告/分析・考察	最終報告				
	モビリティ・物流															
	防犯・防災															
	環境・サステナビリティ															
	自動運転（公道、公園内）			公募	選定	実証事業の準備と実施							成果報告/分析・考察	最終報告		
	データプラットフォーム構築			仕様検討	公募	調査・検討							成果報告/分析・考察	最終報告		
DIC社会実装支援窓口	イベント・実証プロジェクトの検討や課題解決のフォロー、新規スタートアップ向けPR・受入調整															
5G普及促進事業	5G専門家派遣・通信キャリア等との調整・DX化補助金との連携															
DX推進補助金	募集開始	協議会・5G普及促進事業との連携による制度周知・支援														
新たな交流・共創に向けた広報	カンファレンス等でのPR	スタートアップ向けカンファレンス等での出展・PR								東京バイエSG国際発信イベントとの連携に向けた調整						
	HP/SNSでの周知	DIC協議会HPの刷新、SNSを活用した活動PRの推進（随時）														

2

PT・検討会の 開催状況

第1回ライブ・エンタメPT 開催結果（概要）

日時	2023/05/31（水） 1000-1200
場所	トムス開発スタジオ
参加者	（株）フジテレビジョン、森ビル（株）、（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、有識者、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の実証実験に関する実証計画について説明した <ol style="list-style-type: none"> 1：デジタルツインを使った「EVカート体験」による賑わい創出に関する実証実験 2：デジタルツインを使った「バーチャル・フォーミュラE体験」による賑わい創出に関する実証実験 3：デジタルツインを使った「東京臨海メタバース」の技術開発 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・本企画の実施場所は、メガウェブの跡地となるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ そのとおりである。 ・10月にOPENか、あるいは10月に着手か。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 10月のOPENに向けて既に着工済である。 ・今後、ジャパンモビリティショーやeSGプロジェクトのイベント等が控えているが、連携予定はあるか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 様々な方面から個別にお話をいただいているところ、我々としての方向性を今後まとめていきたい。
次年度以降の展望について	<ul style="list-style-type: none"> ● 次年度以降は以下の実証を予定している。 <ol style="list-style-type: none"> 1：デジタルツインを使った「EVカート体験」による賑わい創出に関する実証実験 2：デジタルツインを使った「バーチャル・フォーミュラE体験」による賑わい創出に関する実証実験 3：デジタルツインを使った「東京臨海メタバース」の実証実験

第2回ライブ・エンタメPT 開催結果（概要）

日時	2023/07/28（金） 1000-1200
場所	オンライン（Teams）
参加者	森ビル（株）、（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、有識者、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度実証を予定している以下の2つの実証計画について進捗状況を説明した。 <ul style="list-style-type: none"> 1：デジタルツインを使った「EVカート体験」による賑わい創出に関する実証実験 2：デジタルツインを使った「バーチャル・フォーミュラE体験」による賑わい創出に関する実証実験 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・企画を進めるうえで、支援が必要なことがあれば教えてほしい。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「デジタルツインを使った「EVカート体験」による賑わい創出に関する実証実験」については、本年10月のモビリティショーについて連携したいと考えている。今後、イベントの後援の可能性について相談させてほしい。また、プレスリリースの記載内容についても、追って相談させてほしい。
次年度以降の展望について	<ul style="list-style-type: none"> ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツインを使った「東京臨海メタバース」の実証実験については、フォートナイトとの連携を検討している状況か。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 現時点では、企画の内容と、フォートナイトのケイパビリティのすり合わせを検討している段階で、具体的な取り組みが進んでいるわけではない。

第1回モビリティ・物流PT 開催結果（概要）

日時	2023/06/30（金） 1500-1700
場所	日本科学未来館、オンライン（Teams）併用
参加者	東京都立産業技術研究センター、日本科学未来館、Le DESIGN(株)、LOOVIC（株）、日本工営（株）、有識者、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度実証を予定している以下の2つの実証計画を説明した。 <ol style="list-style-type: none"> 1：視覚障害者ナビゲーションロボット「AIスーツケース」仕様および実証プロジェクト 2：PARTNER MOBILITY ONE with PiiMo & Voice ARコンテンツによる先進観光サービスの実証プロジェクト ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者を相手にする際に、倫理検査などは実施しているのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 学術的な実験の際は大学と一緒に倫理審査を行うが、今回は学術的な実験ではないので想定していない。 ・ビーコンはどのように活用する想定か。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 位置情報の補正で活用する。エレベーターの移動等、上から見ると同一にいるが垂直移動している場合などに検知するためにビーコンを使っている。 ・LOOVICについて、乗車した際にスマホと連携する仕組みか。モビリティに何か取り付ける予定か。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 当日用意したスマホを使ってもらうことを想定している。
今年度の自動運転実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自動運転移動サービス実現に向けたサービスモデル構築プロジェクト」の実施計画を説明した。 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンドで来てもらうことが理想かと思ったが、現実的に厳しいか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ オンデマンドニーズもあると思うが、今回は定時定路線としている。タクシーみたいな小型車両のほうがデマンド対応には向いているかと思う。

第2回モビリティ・物流PT 開催結果（概要）

日時	2023/07/26（木） 1000-1200
場所	日本科学未来館、オンライン（Teams）併用
参加者	東京都立産業技術研究センター、日本科学未来館、Le DESIGN(株)、LOOVIC（株）、日本工営（株）、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度実証を予定している以下の2つの実証の進捗状況を説明した。 <ol style="list-style-type: none"> 1：視覚障害者ナビゲーションロボット「AIスーツケース」仕様および実証プロジェクト 2：PARTNER MOBILITY ONE with PiiMo & Voice ARコンテンツによる先進観光サービスの実証プロジェクト ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・AIスーツケースにはどのようなAIを活用しているのか。また、UXはどのように把握しているのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 画像認識技術などのAIを使っている。アンケートを通しユーザビリティを把握している。前回の実証時に、段差で不自然な動きを感じたとのコメントがあったことから、これを踏まえ改良している。具体的には、3センチの段差を自然に乗り越えられるようにしている。 ・モビリティとそれに関連する活動でいかに付加価値をつけられるか関心がある。モビリティだけでは採算性が難しいかと思う。マネタイズするためには、モビリティと組み合わせるコンテンツのクオリティが重要になる。モビリティの実装に向けた取り組みについて、今後議論したい。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 組み合わせるコンテンツのクオリティが重要である点は、まさにその通り。利用単価をいかに上げるかについて、パートナーと話している。
今年度の自動運転実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自動運転移動サービス実現に向けたサービスモデル構築プロジェクト」の実施結果について説明した。 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ※特になし

第1回防災・防犯PT 開催結果（概要）

日時	2023/05/31（水） 1330-1530
場所	フジテレビ湾岸スタジオ
参加者	(株)フジテレビジョン、森ビル(株)、(一社)東京臨海副都心まちづくり協議会、有識者、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の実証実験に関する実証計画について説明した。 <ul style="list-style-type: none"> ・TIF2023デジタル防災避難訓練 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・防災については、普段関心を持たれないことからマスコミが実施することがとても重要だと思う。また、今回の企画のように若い人が参加することがとても重要である。理想としては、若い人が最新技術を活用して年配者の誘導をしてもらえると良い。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 若い人だとSNSで拡散してもらっても期待できる。 ・大人数を一度に避難させることは非常に大変だと思う。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 一旦、その場所に落ち着いてもらってから、順番に避難誘導を行う予定である。 ・今回避難者が利用するアプリはTIF2023への一般参加者が利用するアプリとは別のものか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 一般参加者用のアプリとは別に、防災避難訓練への参加者限定のものを用意する想定である。
次年度以降の展望について	<ul style="list-style-type: none"> ● 次年度以降は以下の実証を予定している。 <ul style="list-style-type: none"> ・TIF2024の複数会場における避難訓練、デジタル点呼実施 ・お台場地区全体での避難訓練、デジタル点呼の実施

第2回防災・防犯PT 開催結果（概要）

日時	2023/07/26（水） 1400-1600
場所	フジテレビ湾岸スタジオ
参加者	(株)フジテレビジョン、森ビル（株）、（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、（株）ソニーミュージックソリューションズ、（株）NTTデータ経営研究所、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の実証実験に関する進捗状況について説明した。 <ul style="list-style-type: none"> ・TIF2023デジタル防災避難訓練 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・4グループに分かれて避難ということであるが、その識別はどうするのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ グループごとに違う色のビブスが割り当てられる。 ・電波の関係で、屋内から避難しない設定になっているとの理解でよいか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 屋外の方が電波がとりやすいという事情もあるが、屋内でも適切にGPSによる位置情報をとることができれば問題ない。 ・雨天の場合はいかに対応するのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 台風の場合は中止になるであろうが、小雨程度であれば実行する。
次年度以降の展望について	<ul style="list-style-type: none"> ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・東京臨海副都心まちづくり協議会でも避難訓練を実施しているのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 年に1回、情報連絡訓練を実施している。 ➢ 今後、今回の取り組みも踏まえつつ、デジタル技術を活用した避難を考えてもよいかもしれない。

第3回防災・防犯PT 開催結果（概要）

日時	2023/09/06（水） 1130-1330
場所	フジテレビ本社
参加者	（株）フジテレビジョン、森ビル（株）、（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、（株）ソニーミュージックソリューションズ、有識者、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 実証実施結果の報告（簡易版） <ul style="list-style-type: none"> ・TIF2023デジタル防災避難訓練に関する実施結果について、実証実験に関するアンケート結果、そこから見えてきた課題や反省点、来年度に向けた取組イメージについて、説明した。 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ※特に質疑なし ● デジタル避難訓練の体験会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・TIF2023デジタル防災避難訓練の技術を活用し、フジテレビの社内防災訓練にて、デジタル防災訓練を実施した。
次年度以降の展望について	<ul style="list-style-type: none"> ● 次年度以降は以下の実証を予定している <ul style="list-style-type: none"> ・TIF2024の複数会場における避難訓練、デジタル点呼実施

第1回環境・サステナビリティPT 開催結果（概要）

日時	2023/06/08（木） 1500-1700
場所	乃村工藝社本社ビル
参加者	（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、産業技術総合研究所、日本科学未来館、乃村工藝社、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の実証実験に関する実証計画について説明した。 <ul style="list-style-type: none"> ・音のAR体験『oto rea』による「学び×遊び」新体験システムの開発 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・実証を事業者にも体験してもらおうという案はとても良いかと思う。期間はどれくらいを想定しているのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ まだ未定の部分があるが、期間としては1週間くらいかと思う。唯一の弱点は、真っ暗になると位置検索ができなくなってしまうこと。仕組みとして、事前に空間を3Dスキャンしておき、その情報がスマホの中に入っている状態で空間認識をして位置取りをしている。しかし、臨海副都心エリアは暗く、冬のセンタープロムナードは19時くらいになると明度がたりなくなってしまう。おそらく日中の体験になると思う。 ・本企画は、事前予約かあるいは飛込も可とする予定か。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 出来れば事前予約がありがたいが、予約で埋まってしまっても良くないと思うので、デモ機のようなものを用意できるといいかと思っている。
次年度以降の展望について	<ul style="list-style-type: none"> ● 次年度以降は以下の実証を予定している <ul style="list-style-type: none"> ・サービス事業の拡張 = 体験コンテンツの増幅 ・新規サービス実証 ・プラットフォーム基盤の確立 ・体験サービスプログラムとして定着

第2回環境・サステナビリティPT 開催結果（概要）

日時	2023/06/08（木） 1500-1700
場所	乃村工藝社本社ビル
参加者	（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、産業技術総合研究所臨海副都心センター、日本科学未来館、乃村工藝社、事務局
議事	主な意見
今年度の実証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の実証実験に関する進捗状況について説明した。 <ul style="list-style-type: none"> ・音のAR体験『oto rea』による「学び×遊び」新体験システムの開発 <ul style="list-style-type: none"> ➢ より充実した実証内容とすべく新機能を組み込んだ実証プログラムの調整を進めていることに伴い、実証の時期を当初予定していた11月から来年1月後半～2月初旬に後ろ倒しを予定 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者として、どのような年齢層をターゲットにしているのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ どの年齢層をターゲットにするか定かに決めているわけではない。臨海副都心エリアの違った楽しみ方として、ある程度若い人は取り込みやすいとも思っている。目の前のリアルな世界から、ライトノベルのような異世界に転送されるような感覚を提供できればと考えている。これによって、臨海副都心エリアを違った切り口で楽しむことができる。謎解きのようなゲーム性の組み込みも検討していきたい。若い世代が入り口となり、訪日外国人や障がい者にも広げられる基盤を構築できればと思っている。
次年度以降の展望について	※特に質疑なし

第1回データプラットフォーム構築検討会 開催結果（概要）

日時	2023/06/06（火） 1500-1700
場所	テレコムセンタービル 東棟20階 会議室 1
参加者	(株)フジテレビジョン、森ビル（株）、（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、東京都立産業技術研究センター、産業技術総合研究所臨海副都心センター、日本科学未来館、有識者、事務局
議事	主な意見
今年度の方向性 について	<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度の実施内容と今後の方向性、事例について説明した。 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からの経緯より、今年度は一旦データプラットフォームを構築するのかと思っていたが、データプラットフォームを見ていても一つとして上手くいっている事例を知らない。そのため、データプラットフォームを構築するのではなく、データ分析に特化する方向性にしていくことは良いと思った。今年度は、上手くいくビジネスケースを考える1年に出来ると良い。 ・DIC協議会には、いくつかPTがあるけれども、データプラットフォームが一番難しい。まちの人が有益なものを検討するということが重要なテーマ。臨海副都心エリアの事業者にもヒアリングで回ってもらったようなデータ分析が有用か検討して欲しい。

第2回データプラットフォーム構築検討会 開催結果（概要）

日時	2023/07/07（金） 1300-1430
場所	オンライン（Teams）
参加者	森ビル（株）、（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、東京都立産業技術研究センター、産業技術総合研究所臨海副都心センター、日本科学未来館、事務局
議事	主な意見
今年度の方向性 について	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度の公募仕様案について説明した。 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の順番は、その項番どおりの手順で実施してほしいということか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 順番どおりを想定している。目的が分からないと、ニーズ等の把握が出来ないことから順番は重要かと思う。 ➢ 国内外の事例調査を先にやる方法もあるかと思う。その後にエリアの状況を調べ、近いエリアを参考にする。その上で、目的を整理した方が分かりやすいかと思った。 ➢ 了解した。そういう進め方もあるかと思うので、スケジュール・進め方も提案してもらおう形をとりたいと思う。

第3回データプラットフォーム構築検討会 開催結果（概要）

日時	2023/09/27（水） 1000-1200
場所	docomo R&D OPEN LAB ODAIBA
参加者	森ビル（株）、（株）東京臨海ホールディングス、（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会、東京都立産業技術研究センター、産業技術総合研究所臨海副都心センター、日本科学未来館、有識者、（株）NTTドコモ、事務局
議事	主な意見
今年度の方向性 について	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度の施策の実施計画について説明した。 ● 主な質疑応答 <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいの創出によって、エリアのブランド力向上に繋がり、スタートアップの集積がもたらされるとの説明があるが、具体的にどのようにブランド力を向上させ、スタートアップの集積に繋げるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 魅力的な最先端のデジタルサービスの実装などにより人を惹きつけることで、ブランド力を上げ、スタートアップがビジネスを生みやすい場所とすることで、スタートアップの集積に繋げるイメージを持っている。 ・新宿等の他エリアで屋外広告を見た人が臨海副都心エリアを訪問したことをどのように把握できるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ ジオフェンスを用いて屋外広告を見て臨海副都心エリアを訪れた人数を推計することができる。

3

PT・検討会による イベント・実証等の 実施状況

令和5年度に実施するイベント・実証等

- 令和5年度にPT・検討会において実施するイベント・実証等は下表の通り。
- 「モビリティ・物流PT」および「防災・防犯PT」の実施結果については次頁以降にて詳述する。

イベント・実証等		事業者	時期	状況
ライブ ・エンタメ	デジタルツイン・VR・EVカート等を活用したバーチャル&リアル融合型エンタメの実証・開発	トムス	10月下旬以降	✓ プロジェクションマッピングを活用したEV体験を10月に実証予定。
モビリティ ・物流	AIスーツケースによるインクルーシブな移動の実証	日本科学未来館	9/14-25 (ART BAY TOKYOの開催に合わせて実施)	✓ ART BAY TOKYOの開催時期に合わせて、AIスーツケースの屋内外走行の実証を実施。
	PMO等による先進観光サービスの実証	Le DESIGN、 LOOVIC	ART BAY TOKYOの開催に合わせて実施)	✓ ART BAY TOKYOの開催時期に合わせて、Voice ARコンテンツとベンチ型モビリティの実証を実施。
防災 ・防犯	TIF2023デジタル防災避難訓練	フジテレビジョン	8/4 実施済	✓ TIF2023において、デジタルを活用した避難訓練の実証を8/4に実施。
環境 ・サステナビリティ	音のAR体験『oto rea』による謎解き型・街の魅力再発見プログラムの開発と実証	乃村工藝社	来年1月頃	✓ 音のAR体験『oto rea』を活用した実証を来年1月頃に実証予定。
データ プラットフォーム	DICデータプラットフォームの構築に向けた要件定義等	NTTドコモ	9/12- 翌3/29	✓ DIC協議会におけるDPFの目的の整理、ニーズ調査、要件定義等を実施中。
自動 運転	臨海副都心における自動運転技術を活用したサービスの構築 (①公園内 ②公道タクシー ③公道バス)	日本工営 (プロモータ)	①6/30-7/9 ②11月頃 ③翌2-3月頃	✓ ①の公園内の自動運転実証を6/30-7/9に実施。

TIF2023デジタル防災避難訓練

日時	2023/08/04（金）
場所	フジテレビ湾岸スタジオ
実証内容	世界最大規模のアイドルイベント『TIF2023』において、最新テクノロジーを活用した避難訓練を実施。来場者の行動履歴の把握や問題点などの抽出を行い、大型イベント開催時において、来場者が安心して災害時に行動できるようなデジタルを活用した避難サービスの検討を行う。
実証結果	<ul style="list-style-type: none">● 参加者 ・218人（当初定員200人）● 避難精度 ・90%（ゴール地点でのQR読み取り者：196人/参加者：218人）● 実証意義（アンケート結果） ・約9割（88.9%）の方が「意義があると感じた」と回答
今後の展開	<ul style="list-style-type: none">● 実証実験内容(案)：TIF2024の複数会場におけるデジタル避難訓練実施● 実施目標（案）<ul style="list-style-type: none">・Webアプリ、GPS以外の技術導入の検討、防災訓練パッケージの開発・室内会場、屋外会場のどちらもカバーするデジタル技術の検討



デジタル運営管理

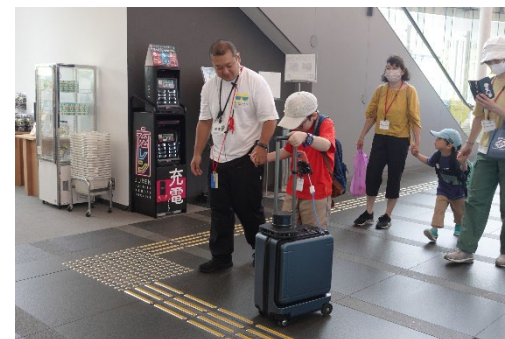
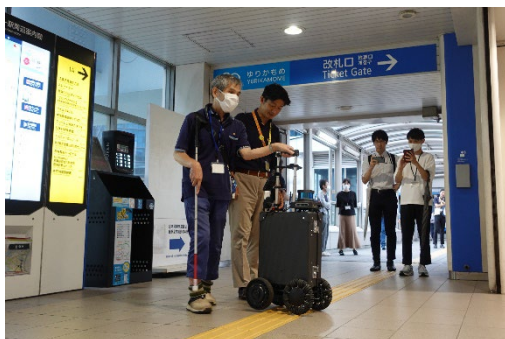
023本部設置予定の管理本部にて避難者の位置確認やメッセージ発信を想定

避難区域内での参加者の動きが確認可能です。

検証内容に合わせて当日のオペレーションは追加可能です。

AIスーツケースによるインクルーシブな移動の実証

日時	2023/09/14-25（ART BAY TOKYOの開催に合わせて実施）
場所	「まちナビ」体験：日本科学未来館⇔テレコムセンター駅 「未来館ナビ」体験：日本科学未来館
実証内容	<p><「まちナビ」体験> 屋外走行用に新たに開発・改修したAIスーツケースで運行。未来館内から出発し、ゆりかもめテレコムセンター駅の改札前までの間を往復する。</p> <p>■ 実証項目</p> <ul style="list-style-type: none">・【技術検証】施設間屋内外のシームレスなナビゲーション、新衛星測位技術・【技術・運用検証】エレベーター乗降による階移動・【運用検証】公共交通機関との接続課題検証・【安全性・ニーズ検証】当事者の安全性・利用意向 <p><「未来館ナビ」体験> 施設内での定常運用向けに開発したAIスーツケースを運行。体験者は複数の目的地の中から自由に選択でき、エンジニアのサポートなしでナビゲーションサービスを体験する。</p> <p>■ 実証項目</p> <ul style="list-style-type: none">・【技術実証】施設内での自由度のあるナビゲーション・【運用実証】施設内での実運用を想定した長時間稼働・運用体制



ベンチ型小型モビリティ等による先進観光サービスの実証

日時	2023/09/14-25（ART BAY TOKYOの開催に合わせて実施）※9月19日を除く
場所	夢の広場→夢の大橋→夢の広場
実証内容	<p>Voice ARコンテンツと組み合わせた形で、ベンチ型モビリティ「PARTNER MOBILITY ONE」と車いす型モビリティ「PiiMo」を夢の広場～夢の大橋間で運行する。</p> <p>■実証項目</p> <p><PARTNER MOBILITY ONE></p> <ul style="list-style-type: none">・【技術検証】GPS-RTKによる安定した自動運転および追従走行及び各種センサ安定動作確認、GPS連動によるVoice ARコンテンツとのサービス連携・【事業性検証】体験者満足度評価および課題抽出、ビジネスモデル仮説検討・【安全性検証】小型モビリティ等の長距離運用による車両耐久性確認 <p><Voice ARコンテンツ></p> <ul style="list-style-type: none">・【技術検証】Voice AR 音声出力 & 検知稼働検証・【事業性検証】Voice AR コンテンツ&コンセプト評価・【安全性検証】Voice ARの横断歩道時等に、適切に音声で安全確認の注意喚起



臨海副都心における自動運転技術を活用したサービスの構築 ①公園内

日時	2023/06/30 - 07/09（平日6日、土日祝日4日の計10日間）
場所	臨海副都心エリア シンボルプロムナード公園内
実証内容	<ul style="list-style-type: none"> ①周遊性向上の検証 通常時と自動運転バスの運行時の施設間の回遊性向上調査（アンケート調査） ②ビジネスモデルの検討 通勤客のニーズを把握、近隣ホテルと連携した貸切運行の実施、車内での広告等の動画表示 ③歩車混在空間での自動運転車両運行に関する受容性の醸成 時速6km以下の走行、走行時の音楽により注意喚起を実施、車両走行ルートが目印設置による安心・安全な運行を検証
実証結果	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者 ・804名 ● 乗降場所 ・乗降車場所共に「東京テレポート駅前」が最も多く、次に「アクアシティお台場ヒルトン前」が多かった ● アンケート調査結果 ・89.4%が乗車中に危険や不安を感じなかったと回答した
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年の結果同様、運行ニーズはあり、特にお台場エリア、青海地区南側、有明地区で多い。運行範囲の拡大を検討したい



4

広報活動の 実施状況

Webサイト

DIC協議会公式Webサイト : <https://tokyo-dic.jp/>

- DIC協議会のWebサイトを順次リニューアルして8月中旬より公開。本年度については、本Webサイトのターゲット（主たる閲覧者）を「スタートアップ等の企業」と仮定して、閲覧者にとって分かりやすく、かつ必要な情報が届くようにWebサイトの刷新を行った。

【主な変更点1】

DIC=臨海副都心エリアの取組であることを前面に押し出すため、MAPを主体とした構成に変更

【主な変更点2】

スタートアップ等の企業が知りたいであろう情報をメニューの左から優先して配置するなど、見やすく分かりやすい位置に変更



【主な変更点3】

現時点で特にアピールしたい情報（実施中の実証など）をTOPページの地図上に視覚的に表示

【今後予定している変更点】

臨海副都心エリアの“未来”と“過去”のスライダーの表示 “過去の実証イベント”など、レイヤーの追加を予定

X (旧Twitter)

DIC協議会公式Xアカウント： **DIC協議会@DICprojectTokyo**

- 従前の広報手段（Facebook）においてDICの認知拡大が進まない中で、新たな広報の施策として、拡散性の高いSNSであるX（旧Twitter）アカウントを本年8月に開設した。
- 週3回以上のペースで、「実証に関する情報発信」、「臨海副都心エリアの地域情報の発信」、「中の人への投稿」といった観点からでDICに関する情報を発信している。

実証に関する情報発信

DIC協議会 @DICprojectTokyo

今月開催の#ARTBAYTOKYOアートフェスティバル2023で、DIC協議会の実証プロジェクト「AIスーツケース（視覚障害者をナビゲーションするスーツケース型ロボット）」が体験できます！行きたい場所を伝えると、スーツケースが自動で動いて道案内してくれます。

DIC ナビゲーションロボット「AIスーツケース」次世代ナビ体験

午後2:13 · 2023年9月5日 · 1,092 件の表示

DICによる実証の準備や実施の状況をリアルタイムに実況

臨海副都心エリア地域情報の発信

DIC協議会 @DICprojectTokyo

こんにちは！先日、臨海副都心エリアでは、「海の灯まつり」がお台場海浜公園にて5年ぶりにリアル開催されました！約1万個のペーパーランタンで描かれた模様が大変綺麗でしたので、写真を投稿します！もし、参加された方いたら、ぜひみなさまも写真をご紹介します！

フォロワー等のエリアへの訪問意欲を喚起するため、「映える”写真を投稿

中の人への投稿

DIC協議会 @DICprojectTokyo

小生、最近、よくテレコムセンターに足を運びます 📞 昔、テレコムセンターで受けた就職面接が、1192名中1192位でした。そんな思い出深い場所。ここでクイズです。なぜ「テレコムセンター」という名前なのか、ご存知ですか？ 🌟 #テレコムセンター #思い出深い場所 #謎解き

午後4:50 · 2023年9月21日 · 127 件の表示

👤 1 🔄 2 ❤️ 4 📌 📄

返信をポスト

Miguel Tanaka @MiguelTana3442 · 9月21日
テレコムセンターより、何の面接か気になる・・・

DIC協議会 @DICprojectTokyo · 9月22日
秘密です！ 🌟 🌟

フォロワー等のエリアへの興味・関心をより喚起するため、街の日常風景をつぶやく

実績

- フォロワー数：21人（10月2日時点）
- 投稿数：52件（10月2日時点）
- 最大エンゲージメント数：約1,100（モビリティ実証に関する投稿）

5

今後の予定

直近の会議の予定

■ 総会

- 第3回総会 : 12月中下旬 ※日程調整中

■ 連絡会

- 第3回連絡会 : 12月中下旬～翌1月 ※日程調整中

■ PT・検討会

- ライブ・エンタメPT（第3回） : 11月1～10日の間で日程調整中
- モビリティ・物流PT（第3回） : 10月26日（木） 1500～1700
- 防災・防犯PT（第4回） : 12月上旬 ※日程調整中
- 環境・サステナビリティPT（第3回） : 11月下旬 ※日程調整中
- データPF構築検討会（第4回） : 12月上旬 ※日程調整中

その他の事業の予定（1 / 2）

■ 自動運転プロジェクト（公道×2社）

➤ 受託者：株式会社ティアフォー

（実施期間） 2023年11月中旬～11月下旬予定

（実施車両） タクシー型自動運転車両

（運行ルート） 周回ルート：青海～台場を周回

（実施期間） 2023年2月下旬～3月

（実施車両） バス型自動運転EV車両

（運行ルート） 海の森公園ルート：有明～海の森公園～青海を周回

➤ 受託者：先進モビリティ株式会社

（実施期間） 2024年1月下旬～2月中旬予定

（実施車両） バス型自動運転EV車両

（運行ルート） 周回ルート：有明～台場～青海を周回

海の森公園ルート：有明～海の森公園～青海を周回

その他の事業の予定（2 / 2）

■ 5G普及促進事業

- 9月25日に、まちの事業者を対象とした事例勉強会を開催
- 11月には専門家派遣事業の希望受付を開始予定
- 事例勉強会についても、12月に第2回を開催予定

■ Tokyo Innovation Base（TIB）

- 11月27日に、TIBを有楽町の“SusHi Tech Square”にてプレオープン予定
- 東京からイノベーションを巻き起こすことを目指し、国内外からスタートアップやその支援者が集い、交流する一大拠点となる予定
- スタートアップ等による挑戦を後押しするため、各種イベントや支援プログラム等を展開予定
- Webサイト：<https://inno-base-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/>

お問い合わせ先

DIC協議会事務局

担当者 : 新間・斎藤・稲葉
メールアドレス : dic@jp.kpmg.com